

平成20年5月30日

衆議院議員

参議院議員

様

全国環境整備事業協同組合連合会
会長 玉川 福和

浄化槽に関する制度改正について

地方自治体の財政は極めて厳しい状況にあります。

下水道料金不足額は毎年1兆円にもなり、一般会計から補填されています。

解消するには現行の下水道料金を2～3倍にする必要があります。

平成12年の単独浄化槽新設廃止を受け、設置される浄化槽（合併）は年間20万基を超え、下水道建設費換算1兆円規模であります。

現在の生活排水対策の中心である下水道整備は、人口5万人以下の効率の悪い市町村に移っています。現行の制度では、平成3年6月12日に発出された

各都道府県知事あて厚生省生活衛生局水道環境部長

建設省都市局下水道部長 通知

「下水道の処理区域においては合併処理浄化槽は遅滞なく下水道に接続されるものであること。」

とされているため、補助金を投入し設置した浄化槽を、さらに税金を投入した下水道に接続する二重の無駄遣いを繰り返すこととなります。

現在、浄化槽（合併）の処理人口は1,114万人です。下水道建設費に換算すると16兆円規模です。一方が一方を否定することなく、今後の地方自治体の財政を考えても、下水道と浄化槽（合併）が共生できるよう制度改正の必要があると考え、国会議員の先生にお願いするものであります。

(注) ・単独浄化槽とは、水洗便所の汚水のみを処理。

・浄化槽（合併）とは、水洗便所の汚水のほか台所排水、洗濯排水なども併せて処理。

選挙区		
氏名		
いずれかに ○を		
賛成	検討中	反対

誠に申し訳ございませんが FAX にてご返信下さい。

※ファックス返信先： 全国環整連本部 03-3272-9938

浄化槽に関する制度改正 署名 結果 (報告)

7月29日 現在

衆議院

定数		賛成	検討	反対
小選挙区	300	28	9	0
比例代表	180	30	8	3
合計	480	58	17	3

	賛成	検討	反対
自民党	16	8	3
公明党	1	5	0
民主党	38	2	0
その他	3	2	0

参議院

定数		賛成	検討	反対
選挙区	147	37	2	2
比例代表	95	12	3	0
合計	242	49	5	2

	賛成	検討	反対
自民党	8	0	2
公明党	1	4	0
民主党	36	1	0
その他	4	0	0

国会議員全体 (衆・参)

定数		賛成	検討	反対
合計	722	107	22	5

回答率

18.6%

各党 内訳	賛成	検討中	反対
自民党	24	8	5
公明党	2	9	0
民主党	74	3	0
社民党	1	0	0
共産党	1	1	0
国民	1	1	0
日本	1	0	0
大地	0	0	0
無所属	3	0	0